

環境経営学会学会誌「サステイナブル・マネジメント」
論文投稿の手引き

2023年8月 学会誌編集委員会

本学会誌「サステイナブル・マネジメント」への投稿論文は、学会誌に掲載されている「投稿論文の募集」及び「環境経営学会学会誌編集委員会規程」によるほか、下記に従い、別添のテンプレートを使用して作成してください。

※問い合わせ先：環境経営学会 事務局 アドレス： smf@smf.gr.jp

■脚注

脚注は、すべて文末脚注とする。

本文の該当箇所の右肩に上付きで数字（例えば、・・・する¹²。）のように示し、本文末尾にまとめて記載する。

■参考文献リスト

和書文献・洋書文献は和洋混合で、第1著者の姓をアルファベット順に並べる。

同一著者は、出版年の早いものから並べる。

同一著者、同一出版年の場合は、出版年に英小文字（a、b、c…）をつける。

文献は次のように記載すること。

【図書】

（和書）

著者(編)名（発行年）『書名』発行所

例)

川村雅彦（2015）『CSR経営パーフェクトガイド』ウィズワークス株式会社

宮崎正浩・靱井まり（2010）『生物多様性とCSR -企業・市民・政府の協働を考える-』

信山社

村井秀樹・川村雅彦・鶴田佳史編（2011）『カーボン・ディスクロージャー』税務経理協会

（洋書）

著者(編)名（発行年）書名，発行所所在地,発行所

例)

Stead, J. & W. Stead（2013）*Sustainable Strategic Management*, 2nd edition,

London, Routledge.

書名は、イタリック体にすること。

著者のファーストネームはイニシャルのみとする。

(邦訳図書)

著者(編)名(発行年) 書名, 発行所, 発行所所在地(翻訳者名(発行年) 『邦訳書名』 発行所)

例)

McGrath, R. (2013) *The End of Competitive Advantage: How to Keep Your Strategy Moving as Fast as Your Business*, Harvard Business Review Press, Watertown, Massachusetts. (鬼澤忍 (2014) 『競争優位の終焉』 日本経済新聞出版社)

【雑誌】

(和書)

著者名(発行年) 「論文名」, 『雑誌名』, 号, 巻, ページ

例)

宮崎修行 (2015) 「ドイツにおける CSR の淵源 -会計・経営・経済のトリニティに着目して-」 『サステイナブル・マネジメント』 第 14 号第 1・2 巻, pp.26-39

村井秀樹 (2012) 「原発における核燃料の固定資産計上の根拠と核燃料リサイクル」 『サステイナブル・マネジメント』 第 11 号第 2 巻, pp.16-32

(洋書)

著者(編)名(発行年) “論文名” 雑誌名, 巻, 号, ページ

例)

Hunt, C. & E. Auster (1990) "Proactive environmental management: Avoiding the Toxic Trap", *Sloan Management Review*, 21, pp.7-18

雑誌名は、イタリック体にする。

巻, 号は、イタリック体にする。

著者のファーストネームはイニシャルのみとする。

【ホームページやインターネット上の文書・資料等】

ホームページ名あるいは文書・資料名, URL, 閲覧日or検索日orダウンロード日

URL は、閲覧した箇所の URL を記載すること (トップページを閲覧した場合を除き、トップページの URL は記載しない)。

例)

環境経営学会 学会概要, <http://www.smf.gr.jp/intro1.htm>, 2015 年 9 月 13 日閲覧

環境経営学会ホームページ, <http://www.smf.gr.jp/>, 2015 年 9 月 13 日閲覧 *トップページを閲覧した場合。

以上